

2004 年度 学長裁量経費（プロジェクト経費）実施報告書

テーマ	現行の英語活動と将来の小学校での英語教育のためのシラバスの提案と教材作製		
代表者及び共同研究者名 (代表者に○印)	氏名	所属部局講座等	役割分担
	○野呂忠司	外国語教育講座	総括
	杉浦正好	外国語教育講座	調査、資料収集
	南 隆太	外国語教育講座	小学校 3 年生シラバス作成
	建内高昭	外国語教育講座	小学校 4 年生シラバス作成
	Robins, A.	外国語教育講座	小学校 3 年生シラバス作成
	Ryan, A.G.	外国語教育講座	小学校 4 年生シラバス作成
研究成果の概要			
<p>中間報告で示した基本的な方針に従い、教材作成と授業案作成に取り組んだ。第一段階として、3 年と 4 年の年間授業指導案を作成した。アジア諸国（韓国、ベトナム、香港、台湾）のシラバスと教科書を収集し、シラバスと教材作成の参考にした。協力校である知立市立知立東小学校で平成 18 年度に使ってもらい、修正を加えていく予定である。</p>			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国の小学校英語教科書と教師用指導書分析し、日本の中学校の教科書と比較した。韓国では、小学校 4 年生から 6 年生の 4 年間に単語数 650 語ほど使われ、そのうち 168 語は日本の中学校の教科書にも出ていない語であった。それらは、動物、色、スポーツ、身体表現、家の中の物、等の生活用語が中心であった。文法表現も日本の中学校の 1 年と 2 年で学ぶ文法表現が使われ、多くは定型表現として教授されていることが分かった。 2. 韓国の教材・指導法を参考に、各ユニットで扱う言語項目を精選した。日本の実情に合致するように配慮し、配列も決定した。 3. 3 年生と 4 年生の言語材料の習得を実現するために、具体的な授業案を提案した。小学校の教員にできる限り英語で授業をしてもらえるように、平易なクラスルーム英語も含めた。楽しい活動にするため、タスク活動や歌は毎時間入れ、「読み聞かせ」を多く取り入れた。次の 2 点が今後の課題として挙げられる。①小学校英語教材に不可欠なイラストを書ける人材がスタッフにいない。②視聴覚教材の準備が十分でない。 4. Robins 教授と Ryan 教授が香港の小学校と大学を視察し、現地の小学校英語教育の現状報告（別紙資料）をした。香港を起点とした中国の外国語教育政策は積極果敢であり、日本の現状との違いが浮き彫りになった。ここでも多用されている「読み聞かせ」を教材作成や授業で重視することにした。 			
<p>実際に始まったのは学長経費が下りた平成 17 年度 4 月だったので、全ての計画を 17 年度内に実行できなかった。5, 6 年生用の授業案作りは平成 18 年度へ引き継ぐことにする。また、授業案を実施しながら、改良を加えていく予定である。</p>			